

シルバー連合 ふくい

第63号
2025年10月



〒910-0005 福井市大手3丁目7番1号 (福井県織協ビル7階704号室)

TEL (0776) 29-1195 FAX (0776) 29-1197

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/fukui/> E-mail fukui@sjc.ne.jp



会長就任あいさつ

公益社団法人 福井県シルバー人材センター連合 会長 清水 拓



この度、本年度の理事会におきまして、理事の皆様よりご推薦をいただき新たに会長に就任いたしました清水拓でございます。

その職の重さに身の引き締まる思いでございますが、微力ながら精一杯その職務にあたらせていただく所存でございますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、現在、福井県内のシルバー人材センター事業は、16市町に15シルバー人材センターが設置され、令和6年度の事業実績は、会員数が7,944名（対前年度比79名減）、受託契約額が約39億円（対前年度比2,150万円減）、就業延人員が772,207人日（対前年度比32,940人日減）の厳しい状況となりました。対前年度を初めて下回った派遣事業については就業延人員、実績額の双方とも4月以降いずれも対前年度を上回り回復傾向を示しております。

一方、我が国におきましては、人口減少、少子高齢化が進展し、人生百年時代を迎えた、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。

特に、先ごろ公表されたシルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究の調査結果によると、「センターでの就業がフレイルの発生に抑制効果」とあり、地域の高齢者（非会員）に比べセンター会員はフレイルの発生リスクが34%軽減することが科学的に明らかになり、後期高齢期のセンターでの就業はフレイルの抑制に一定の効果があることが明らかになりました。

そのような中、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、シルバー人材センターは、臨時的・短期的な就業等を希望する地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなど、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実に加え、フレイル抑制へのシルバー事業の有効性からくる健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化に寄与するとともに、その役割は今後益々大きく、期待も大きなものとなっています。

そのためには、各シルバー人材センターに求められる信頼と期待に応えられるよう、関係の皆様と連携を深めながら、県内すべてのシルバー人材センター及び行政・経済団体等との連携を密にし、積極的な事業展開を図ってまいりたいと思っております。

皆様方には、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

役員名簿

会 長	清水 拓	公益社団法人	福井市シルバー人材センター理事長
副 会 長	井上 英之	公益社団法人	南越前町シルバー人材センター理事長
常務理事	宮川 慶彦	公益社団法人	福井県シルバー人材センター連合事務局長
理 事	四谷 昌則	公益社団法人	勝山市シルバー人材センター理事長
理 事	山本 信英	公益社団法人	鯖江市シルバー人材センター理事長
理 事	吉田 正夫	公益社団法人	越前町シルバー人材センター理事長
理 事	松田 豊治	公益社団法人	大野市シルバー人材センター理事長
理 事	五十嵐秀雄	公益社団法人	坂井市シルバー人材センター理事長
理 事	田川 利治	公益社団法人	あわら市シルバー人材センター理事長
理 事	榎本 康博	公益社団法人	若狭町シルバー人材センター理事長
理 事	坂下 憲治	公益社団法人	若狭シルバー人材センター理事長
理 事	三上 利明	一般財団法人	福井県老人クラブ連合会長
監 事	近藤 勉	公益社団法人	越前市シルバー人材センター理事長
監 事	藤川 博史	福井県商工会議所連合会事務局長	

新任理事長・事務局長紹介

今年度新たに理事長2名、事務局長4名が就任されました。



普及啓発促進月間中の取り組み

毎年、全国シルバー人材センター事業協会では、10月を「シルバー人材センター普及啓発促進月間」と定め、全国的な普及啓発活動を実施しています。

本年度もシルバーフェスタを開催するなど積極的に普及啓発活動に取り組みました。

ふくい元気・シルバーフェスタ 2025in 大野

10月4日(土)ふくい元気・シルバーフェスタが大野市で開催されました。

あいにくの雨模様となりましたが、会場の結とぴあ 多田記念大野有終会館の多目的ホールでは、大野市シルバー人材センター独自事業事例発表、唄うお坊さん!浄土宗善導寺大門住職による講演、越前太鼓祥雲による和太鼓演奏、会員アトラクションではリメイクファッショショードが催されました。

また、お楽しみ抽選会に向けて抽選券配布には長蛇の列ができ、イベント最後の抽選会では商品が大野市の新米ということもあり大盛況でした。

会館内では、県内シルバー人材センターの活動写真のパネル展示、来場した子どもたちを対象として木製コースターづくり、スマートボールコーナー、特産物販売や会員手作り作品の販売が行われました。会館外では、県内シルバー人材センターの役職員等による屋台(ホルモン焼うどん、焼きそば、焼き鳥、おろしそば、焼いもなど多数出店)で賑わいました。



清水会長あいさつ



大野産新米を受け取る当選者



経験交流会での事例発表



ギターと唄で講話



響く太鼓の音



ステージがランウェイ



陽気にウクレレ演奏



笑顔で接客屋台村



ちびっこあつまれ!!スマートボール



井上副会長による閉会の辞

「シルバーの日」の地域密着ボランティア

10月の第3土曜日は「シルバーの日」として全国的に地域密着型ボランティア等の普及啓発活動が展開されています。

本県では、10月18日(土)を中心に清掃や草取りのボランティア活動が全センターで行われ例年約1,000人のシルバー人材センター会員等の参加を得ています



坂井市シルバー人材センター
ハピライン丸岡駅での清掃

安全・適正就業強化月間の取り組み

7月1日から7月31日まで全国シルバー人材センター事業協会が「安全・適正就業強化月間」と定め全国的にさまざまな取り組みをしています。



安全・適正就業促進大会

7月24日、福井県中小企業産業大学校において令和7年度安全・適正就業促進大会が開催され、県内センターから役職員・会員69名の参加がありました。

清水 拓 連合会長のあいさつの後、湯川労働安全衛生コンサルタント事務所 代表社員 湯川 渉 氏から「ヒューマンエラー防止について」の講演、続いて、福井県警察本部交通部交通企画課長 小豆 哲也 氏による「高齢者の交通事故防止対策について」の講演がありました。

次に、令和7年4月から6月の事故発生状況報告が行われ、最後に、連合安全・適正就業委員会 吉田 正夫 委員長が安全・適正就業宣言を行い、閉会となりました。



ヒューマンエラー防止について



安全・適正就業宣言



安全・適正就業強化パトロール

安全・適正就業強化月間（7月）に併せて、連合安全・適正就業委員会委員が全センターを対象に、会員の作業現場のパトロールを行いました。

主に屋外作業現場を中心に実施し、作業看板の設置状況、転倒防止、熱中症予防、刈払機での飛散防止対策、および切断事故防止を重点に指導を行いました。

屋内に関しては、転倒事故の割合が高いため、就業会員の履物を重点に安全確認を行いました。



センター委員と連合委員の協同でパトロール実施



刈払機講習

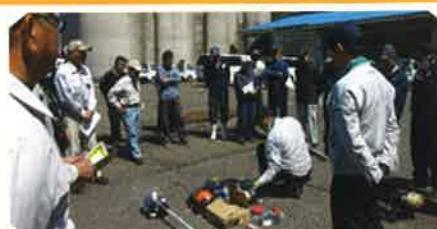
福井県内において刈払機による事故は、令和5年度に24件、令和6年度に21件発生しています。

幸いにも、人身に係る事故は発生していませんが、賠償事故の約7割が刈払機によるものです。このため令和7年度は、刈払機の座学による事故発生状況や危険行為と安全作業方法などについての講習を5回（9月末現在）行いました。

上下二枚刃方式の実装は今のところ2センターですが、1枚刃の“石トバサー”については、多くのセンターで採用が進んでいます。また、併せて事故防止に“股バンド”的普及に向けて説明を行っています。

これからも、飛び石事故ゼロを目指して啓発活動を促進していくと考えています。

(安全・適正就業パトロール指導員 舟澤)



メーカーによるメンテナンス指導



座学による安全講習

安全・適正就業の取り組み

公益社団法人 大野市シルバー人材センター



<安全就業への取組について>

1 安全・適正就業推進大会の開催

毎年、安全・適正就業強化月間にあわせて7月に開催しており、大野市交通指導員による「頭と体を使った右脳トレーニング」や県連の安全パトロール指導員による講習を実施しています。

2 安全・適正就業部会員によるパトロールの実施

令和6年度は年間36箇所で実施し、服装・安全保護具の着用状況、器具・道具の使用状態、就業場所の安全確保など点検に力を入れています。

部会パトロールだけでなく担当職員が積極的に現場に出向き声かけに力を入れています。

3 安全意識の啓発

事務所に「無事故継続日数」を掲示して会員への意識づけや、広報誌「瓦版」の“安全だよりコーナー”にて、安全就業について掲載し、会員の安全意識向上を図りました。

4 交通安全に関する活動への参加

「交通安全運転管理者協議会 “標語入り立て看板コンクール”」、「大野警察署 “安全運転無事故無違反（250日）チャレンジ250”」に参加するなど積極的に取り組んでいます。

さらに、公用車を使用する際は、出発前にアルコール検知器による確認を徹底し、酒気帯び運転の防止に努めています。



公益社団法人 高浜町シルバー人材センター



安全作業を目指して!! 劃払機取扱講習会

当センターでは安全作業の一環として安全・適正就業委員会を設け定期的にパトロールや会議を開催しています。

今般、刈払機による石飛事象が2週連続で発生したことから、刈払機使用時の取り扱いなどの安全講習会を開催し、役員、班長、リーダーが中心になり講習を受講してもらいました。

当日講師には石飛しにくい刃の製造メーカーから専門知識を有する方にお越しいただき、石飛しにくい刃を使っての実演を行い、受講者には実際に重さなど体験いただき、二枚刃の特性など体感してもらいました。

講習会の受講者からは、「少し重いので慣れないとうまく使えない。」「刈りにくいのでコツが必要だ。」といった意見がありました。今後、石飛が予想される現場では、この刃を使用して作業を行うようシルバー人材センター事務局から指示する運用に変更して、令和7年度から作業に当たってもらっています。

9月1日現在、お客様からの被害の報告はございません。引き続き刈払機の安全な取り扱いに取り組んでまいります。



刈払機の取り扱いについて説明を受ける会員他

令和7年度 通常総会



シルバー人材センター関係功労者表彰者の皆さん

令和7年6月25日（水）13：30から福井県織協ビル10Fホールにおいて、令和7年度通常総会が開催されました。

中川前会長のあいさつに続き、長年シルバー人材センター事業に貢献いただいた功労者等45名1団体の表彰を執り行いました。

来賓に杉本達治福井県知事代理 上藤正純福井県産業労働部労働政策課長並びに石川良国福井労働局長代理 諸井博之福井労働局職業安定部長をお迎えし、それぞれに祝辞をいただきました。

次に、議長の選出が行われ、永平寺町シルバー人材センターの後藤理事長が選出され、下記の議事を審議いただきました。

【議 事】

- | | |
|-------|---------------|
| 第1号議案 | 令和6年度事業報告について |
| 第2号議案 | 令和6年度決算報告について |
| | 監事監査報告 |
| 第3号議案 | 定款の変更（案）について |
| 第4号議案 | 役員の選任（案）について |

【報告事項】

- (1) 令和6年度補正予算について
- (2) 令和7年度事業計画について
- (3) 令和7年度収支予算について



中川前会長による開会あいさつ



後藤議長による議事進行

令和7年度 事業計画

福井県シルバー人材センター連合では、第3次中期計画（令和2年度～令和6年度）を策定し、会員拡大を最重点課題として取り組んできたが、令和2年度以降会員数の減少が続き、計画最終年度に至っても反転することができなかった。

令和6年度11月に施行された「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス新法）の趣旨を踏まえた対応として、厚生労働省から示された基本方針に沿ったシルバー事業における新たな契約方法へ円滑な移行が求められる。

さらに、「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることはシルバー事業の根幹をなすものであり、組織を挙げて安全対策のより一層の推進を図り、傷害事故、賠償事故の防止について安全就業対策の強化を図ることが必要となる。

令和7年度は昨年度に引き続き、「会員の拡大と就業機会の拡大」、「包括的契約方式への円滑な移行」、「安全・適正就業対策の推進」を重点項目とし、各シルバー人材センターと一緒に地域の期待に応えていくためにも、次の基本方針の事項を重点にそれぞれの役割と特性に応じた事業を展開する。

【目標数値】

会員数	8,229人	粗入会率	3.0%
契約金額	3,952百万円		

I 基本方針

- 会員拡大対策等の推進
- 「高齢者活用・現代世代雇用サポート事業」を活用した就業機会の拡大
- 「公益社団法人」としての事業展開とコンプライアンスの徹底
- 重篤事故ゼロを目指した「事故防止対策」と「適正就業ガイドライン」「高齢運転者等に係るガイドライン」に沿った事業運営
- 「高齢者活躍人材確保育成事業」の積極的な推進
- 女性会員の更なる拡大に向けた取組
- シルバー事業のデジタル化の推進

II 基本方針に沿った事業の展開

- 会員の拡大
 - イメージアップに向けた効果的な普及

啓発活動の実施

- 高齢化する会員等に対する社会参加活動等の推進

(3) 入会促進対策の推進

2 事業の拡大対策

- 多様な働き方の推進
- 労働者派遣事業の実施
- 職業紹介事業の実施
- 就業開拓事業の推進
- 需給調整事業の推進

3 安全就業対策と適正な契約の推進

- 安全就業の徹底（事故未然防止対策）
- 適正就業の徹底（法令順守）
- シルバー人材センターが開催する安全・適正就業講習会の支援

- 高齢会員の就業に関して情報提供を行うなど健康管理・健康確保に努める

4 交流研修の推進（役職員に対する研修）

5 未設置地域対策

6 組織の強化対策

- 関係機関との連携
- 指導・相談体制の確立
- 社会参加活動の推進
- 情報管理体制の強化
- 調査研究事業
- シルバー事業のデジタル化の推進
- 契約方法の変更
- 公益法人制度改革への対応

7 健全な財政基盤を確立

- 運営基盤の強化
- 自主財源の確保

III 高齢者活躍人材確保育成事業

- 高齢者及び企業に対する積極的な周知・広報
- 就業体験の実施
シルバー人材センターでの就業に关心のある高齢者を対象に就業体験を実施
- 技能講習の実施
シルバー人材センターでの就業を希望している高齢者等を対象に希望する新たな分野で活躍することができるよう技能講習を実施
- 連絡会議の開催
- 事業目標の設定

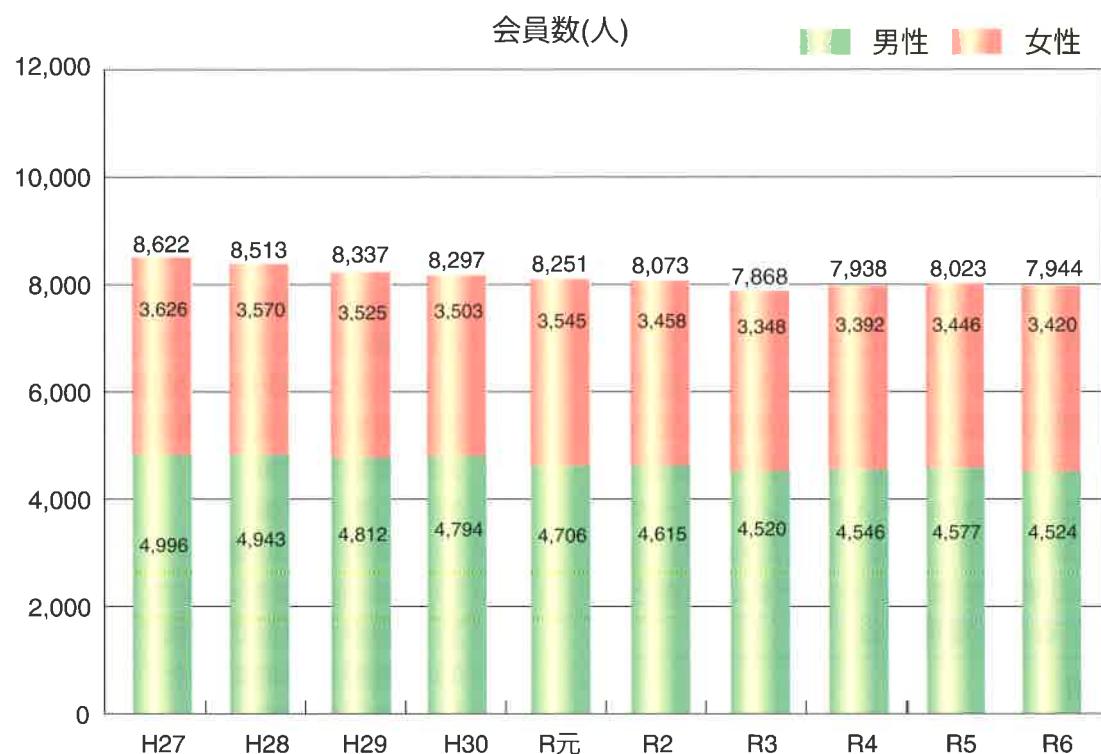
- 新規入会会員数 319名以上

令和6年度の状況

福井県内では、15のセンターが設置されており、未設置は池田町のみとなっています。

令和6年度末の会員数は7,944人で前年度より79人減少となりました。

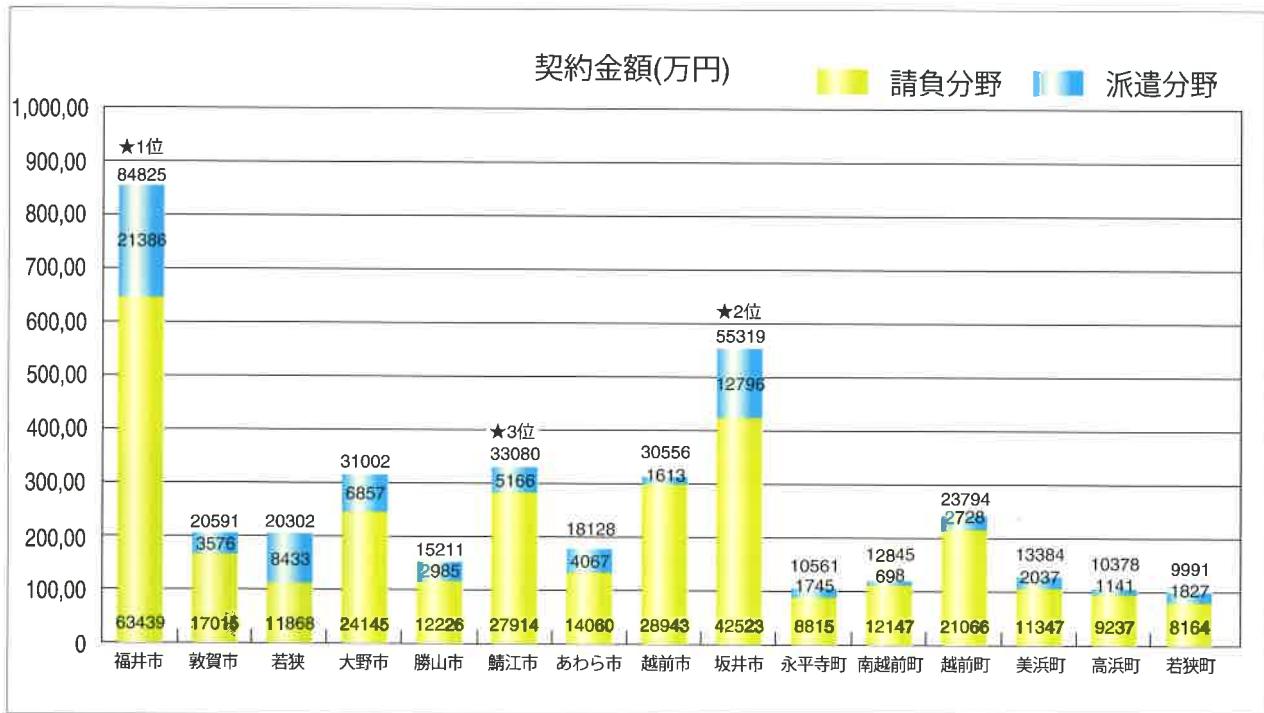
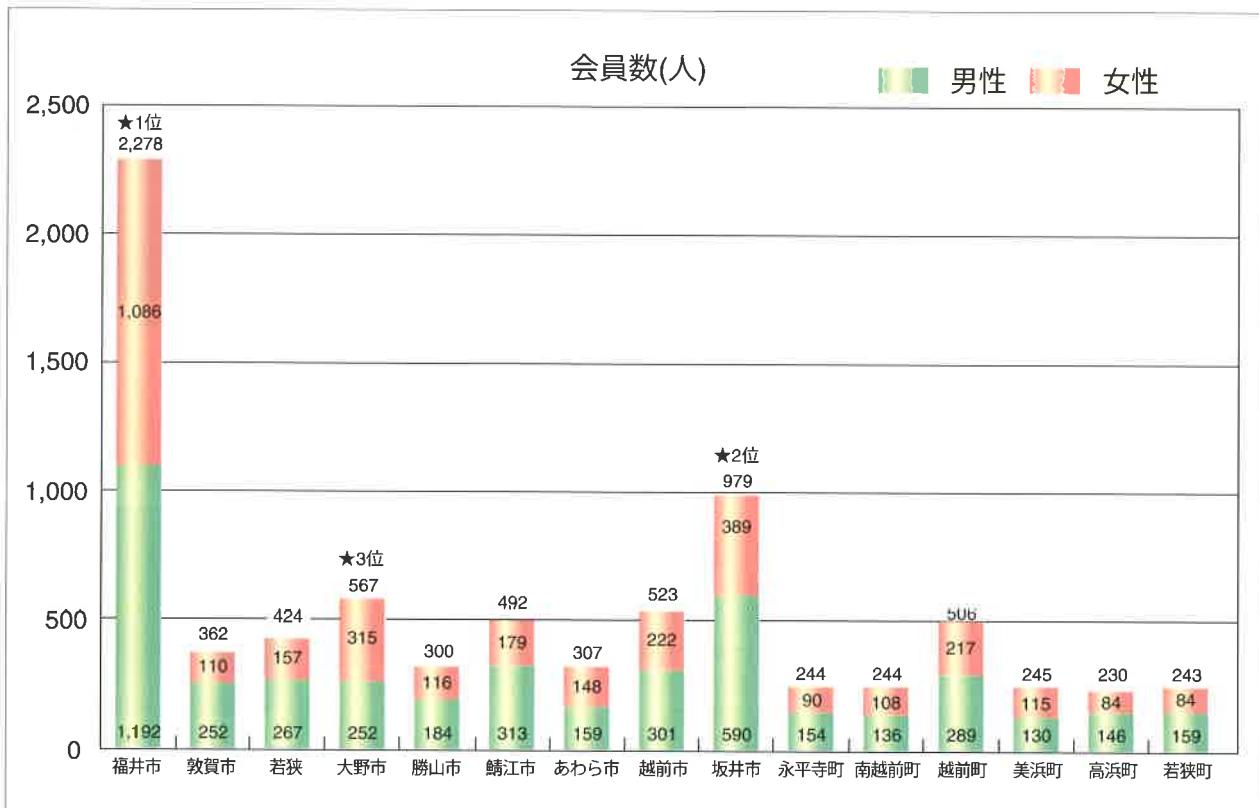
また、契約金額については、39億円と前年度に比べ0.5%の減少という結果になっています。請負分野では横ばい（▲0.1%）となり、派遣分野については初めて減少（▲2.5%）という結果になっています。



令和6年度センターの実績

福井県内15センターで会員数1位は福井市、2位坂井市、3位大野市、続いて越前市、越前町となっています。

契約金額でみると1位福井市、2位坂井市、3位鯖江市、続いて大野市、越前市の順となっており、会員数の多い所が実績も多くなっています。





シルバー人材センター 便り

1 公益社団法人 福井市シルバー人材センター

こんなに素敵なもの作っています!!

当センターのソーイング班『夢工房』では、洋服のお直し、衣装作り、カーテン等のリフォーム、袋物等を、個人や企業から依頼を受けて製作しています。

今回は結婚式場からの依頼で、永遠の愛を誓う指輪の枕「リングピロー」をご紹介します。脇役ではありますが、新郎新婦の前で輝いています。

一つひとつ手作業で丁寧に作っている会員は、「作っていて幸せな気持ちになります」と話していました。

他にもれん、エプロン、よさこいの衣装製作、来年度の新入学生の制服のネクタイなど様々なものを製作しています。

何でもお仕事のご相談おまちしております。

福井市シルバー人材センターワークプラザ

☎27-0801

まごころ込めて
丁寧にお直ししています



和装用リングピロー



洋装用リングピロー

2 公益社団法人 越前市シルバー人材センター

三世代交流事業「一緒に遊ぼう」

当センターでは、三世代の交流の場及び普及啓発活動として、令和6年11月16日（土）越前市社会福祉センターにて三世代交流事業を開催し、約300名にご参加いただきました。

会場では焼きそば・ジュース等の販売のみではなく、子供たちと一緒に餅つきや牛乳バツクを使った一輪挿し作りの体験も行い、どのコーナーも大変賑わっていました。特に杵と臼を使った伝統的な方法での餅つきは好評で、会員に教えてもらいながら上手に餅をつき、そのつきたての餅はとても美味しく長蛇の列ができていました。

仁愛大学子ども教育学科様による子どもコーナーでは、「縁日」をテーマに仁愛大学生の方が用意した紙で作成したお金を使い、ゲームをしたり、紙で作った食べ物を買ったりと、子供たちが楽しそうに遊びながら遊んでいました。

また、ゆめポケット様によるバルーンアートでは、お花やうさぎといった可愛いものがたくさんあり、子供たちも嬉しそうに風船をもらっていました。

参加された皆様には食事も美味しく、体験など楽しむことができたと喜んでいただけました。今年度は11月8日（土）に行う予定です。今回も世代を超えて交流ができ、参加者に楽しんでいただいた上で、当センターのことを多くの方に知ってもらう機会にしたいと思います。



杵と臼を使った餅つき



会員による一輪挿し作り体験

3 公益社団法人 鯖江市シルバー人材センター

健康寿命をのばし、安全就業をめざして

当センターでは、今年の春に会員研修会を開催し、フレイル予防体操に取り組みました。フレイルとは、加齢により心身の活力が低下し、そのまま放置すると要介護につながる可能性のある状態を指します。会員の皆さまが安心して就業を続け、地域で元気に活躍していただくためには、こうした予防の取り組みが欠かせません。

研修では、専門講師の指導のもと、椅子に座ったまま行えるストレッチや、筋力を維持する簡単な運動を実践しました。参加者からは「これなら毎日続けられそう」との声も聞かれ、和やかな雰囲気の中で楽しみながら体を動かす姿が見られました。

学んだ体操を取り入れ、習慣化することが大切です。健康寿命を延ばすことは、安全就業の確保だけでなく、生活の質を高め、笑顔で過ごす時間を増やすことにもつながります。センターとしても今後、研修や啓発活動を重ね、会員の健康維持と安全な就業を支えてまいります。



椅子に座ってできるストレッチを
体験する会員の皆さん

4 公益社団法人 敦賀市シルバー人材センター

ネイティブの英語を体験しよう！えいごで遊ぼう！を開催

7月12日と14日の2日間、託児所「たんぽぽ」の周知のため、小学校3年生までの子供と保護者を対象に、えいごで遊ぼう！を開催し18名に参加いただきました。

今回の企画は、アメリカ在住の学生 松永真理子氏を先生にお迎えし、子供たちがゲームやダンスを通してネイティブアメリカンに触れあうものです。

まずは英語で自己紹介、みんな少し緊張しましたが、「My name is OO. Four years old」と上手に言えました。緊張がほぐれ次にダンス、みんな知っている「Head shoulders knees and toes (あたまかたひざぽん)」を英語で歌いながら踊るときは飛び跳ねてノリノリでした。

身体を動かした後は、アルファベットカードを使った魚釣りを楽しみ、最後に先生が絵本を朗読してくれました。英語で難しかっただろうけど、みんな真剣な表情で聞き入っていました。

参加者からは、「楽しかった」「子供が英語に触れられてとてもよかった。」「また、開催してほしい」とうれしい声が聞かれました。



アルファベットカードで魚釣り

5 公益社団法人 若狭シルバー人材センター

会員インタビュー始めました！

当センターでは令和7年度より、会員向け会報(年4回発行)に若手職員による会員インタビューコーナーを設けることにしました。日々、就業やボランティア、サークル活動などで活躍する会員さんを見て、「シルバーの会員さんってかっこいい！」「とっても楽しそう！」と常々感じる中、会員さんの就業中の頑張っている姿や、楽しそうにサークル活動に励む様子をいろんな人に知りたいと思うようになりました。そしてインタビュー記事を見て、新しい分野の就業に挑戦するきっかけや、同じ会員として会員の活躍が励みになってもらえたらしいと考えています。

これまでに4回、剪定、機械除草、保育園の清掃と草むしりの作業をされている会員にインタビューを行いました。入会のきっかけや仕事のやりがい、お客様からいただいた嬉しい声、日々の楽しみなどお聞きし、会報のインタビューコーナーには収まりきらないほど毎回話が盛り上がります。会員さん同士の意外な共通点や、知らなかつた特技、普段事務局に来られた時とは違う仕事の顔にどきっとしたり、インタビューを通して会員さんのこれまでの経験や人生の歩みの一端を垣間見ることで、私自身もこれから的人生の楽しみ方を学ばせていただいている。

今年度から始まったばかりで、事務局としても記事の内容や、周知方法などまだまだ模索中なところであります。今後は会員向け会報に限らず、より多くの方の目に留まるような場所に掲示し、会員インタビュー記事を通して、会員拡大、受注拡大、生きがいづくりを推進していきたいと考えております。



会員さんへのインタビューの様子



シルバー人材センター 便り

6 公益社団法人 大野市シルバー人材センター

安全・安心で笑顔あふれる就業環境づくり

当センターは、間もなく40周年を迎えるなか、女性会員を中心となり六次産業化に取り組むなど「生涯現役」で生きがいをもって働ける機会を提供し、独自事業収入6年連続日本一を達成しました。

また、安全・適正就業にも積極的に取り組んでおり、県シ連の安全パトロールや講習会などを実施することで日々の会員の安全意識向上が図られ、無事故継続日数は、3000日(R7.9.17時点)を達成し、現在も継続中です。こうした取組みが評価され、『令和7年度の安全就業シルバーハンモック人材センター 優秀賞』を受賞し、会員・職員の士気がますます高っているところでもあります。

さらに、会員の就業時の負担を軽減させることを目的として、シルバー会員就業支援事業を活用し「アシストスーツ」の導入を試みています。重労働に対する腰、膝などへの負担が軽減できるなど会員も安心して就業できる環境整備にも努めています。今後も、地域に不可欠な存在としてシルバー事業の可能性を追求していくことで、誰もが「生涯現役」で生き生きと暮らせる社会の実現を目指します。



アシストスーツ装着研修



自走式草刈機と アシストスーツの作業状況

7 公益社団法人 勝山市シルバー人材センター

害虫対策・今できることの啓発活動と対処

9月上旬、福井県内でマダニが媒介するウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」の患者が県内で1人報告されたとの新聞報道がありました。当センターでは会員の安全を考慮して8月下旬、新聞記事と一緒に国立健康危機管理研究機構から出ている感染症情報資料を参考に感染症予防に対する資料を配布いたしました。対象となる会員は、草刈り・草取り・剪定を行っている方々約50名に配布しました。資料の内容は、マダニの生息場所、忌避剤の効果などわかりやすく絵と説明を合わせて「マダニってなに」・「マダニに刺されるとどうな供の重要性を再確認しました。今後、マダニ・熱中症センターからは定期的に情報提供して参りたいと

一方、新聞にも掲載されましたが、本年は少雨や猛暑の影響でスズメバチが県内で増加しています。



スズメバチの巣

当センターでもスズメバチの駆除の問い合わせが増えてきている中で、勝山市が「勝山市スズメバチ駆除費補助金」を導入しました。

駆除するのに要した経費の2分の1に相当する額が助成される制度です。

お客様の中には、ハチが怖くて玄関から出られない
と言った声や業者に聞いたら何日もかかると言われたという声をお聞きし、迅速な対応を心がけています。現場の下見の際には、高い場所や危険な箇所がないかを十分に確認し作業に入ります。駆除されたお客様からは、安堵の表情で感謝の言葉をいただいている。これからも、市と連携し市民の方々に喜んでもらえるセンターであり続けたいと思っております。

令和7年度廃除件数は20件です。

令和7年8月27日 福井新聞

マダニ感染症、最多 累計143人

国立健康危機管理研究機
構は26日、「マダニが媒介す
るワイルス感染症「重症熱
性血小板減少症候群（SPF
TS）」の患者が、11～17
日の一週間に全国の医療機
関から通報例で5人報告さ
れた」と明らかにした。今年

動物の血液などを介してう
いる。6～14日の潜伏期間の
後、発熱や嘔吐、下痢、意
識障害などの症状が出で致
死率は10～30%とされる。
13年に山口県の成人女性
の感染が初めて報告されて
以来、西日本を中心、患者
を確認。今年は北海道、関
東、中部からも報告があり、
感染地域が広がっている。
マダニは春から秋に盛ん
に活動する。野生動物では、
草むらでの活動や農作業で
は、肌の露出を避けねばけ
てはいる。

8 公益社団法人 あわら市シルバー人材センター

「シルバー農園」2年目 地域とつながる“笑顔の収穫”

坂井北部丘陵地の休耕地を活用した「シルバー農園」は2年目を迎え、6月には約2.5万本の玉ねぎを収穫。センターや市役所で販売したほか、賛助会員へ感謝を込めて届けたところ「きれいな玉ねぎですね」と喜びの声が寄せられました。5月に植えたさつまいも4種も9月の収穫を控え、親子連れや地域の方々との収穫体験を予定。世代を超えた交流の場となっています。収穫後は女性会員がチップや大学芋に加工し「シルバーフェスタ」等で販売予定しています。こうした活動は広報紙やSNSで紹介し、センターの魅力発信にもつなげています。就業機会の創出、健康維持、地域貢献、仲間との絆を深める場として、これからも地域に恵みと笑顔を届けます。



たまねぎ収穫体験

9 公益社団法人 坂井市シルバー人材センター

出張入会説明会開催！

当センターでは、昨年度より、新規入会者の促進を図るために定期的な事務局での入会説明会・女性限定入会説明会の開催に加え、事務所(春江)以外の三地区へ出向き、参加しやすい出張入会説明会を開催しています。

昨年度は2月に開催し、受講者10名中入会者7名と入会率が高かったこともあり、今年度は回数を増やし9月と2月の年2回開催を予定しています。

また入会に至らなかった方への、その後の積極的なアフターフォローの実施や、例年就業が難しくなる会員の増加に伴い、社会参加や生きがいづくりの場を提供し退会者の抑止を図る対策も講じています。

今後も多方面からの視点をもち、さらなる入退会者対策の取組みを実施していきたいと思います。



出張入会説明会

10 公益社団法人 南越前町シルバー人材センター

独自事業、スタートを切る!!

独自事業って？なにから始めればいいの？

令和7年3月。組織活性化委員、事務局職員ら7名が、大野市と坂井市のシルバー人材センターさんへ視察に伺いました。

両センターの実際の運営の様子を見たり、軌道に乗るまでの苦労話を聞いたり、とても有意義な視察となりました。そして何よりも、独自事業に携わる職員や会員の方々の情熱に感銘を受けました。

そして、組織活性化委員会で話し合いを重ね、令和7年4月、独自事業として“じゃがいも栽培”がスタート。第一歩目の耕作地の決定から悩みました。草刈り、畑起こし、施肥、植え付け、そして炎天下での収穫。獲れたじゃがいもは、先ずは、会員交流会と慰労会を兼ねた「納涼祭」で試験的に販売いたしました。

記念すべき“じゃがいも栽培”は決して豊作ではありませんでしたが、独自事業の確立に向けて、会員と職員が共に汗を流し、完売できたことが何よりの収穫です。10月には、6月に植えた“さつまいも堀り”が待っています。



独自事業（じゃがいも）



シルバー人材センター 便り

11 公益社団法人 越前町シルバー人材センター

町民の命を守り、 健康長寿をサポートする企画提案方式事業

当センターでは、企画提案方式事業として本町の課題の一つである「介護問題」「環境問題」に対して、行政と連携しながら地域密着型の事業を実施しています。平成22年に町道等のパトロール委託を受けて以来、8名の会員が2名1チームとなって町内4地区を合計年間180回程度（各地区1週間に1回）、違法投棄の多い箇所を重点にパトロールを行っています。この道路環境美化事業では、空き缶やゴミの収集、不法投棄物回収、看板清掃、危険箇所（落石・土砂崩れ）の通報などが主な取り組みです。町道の両側には、多くの空き缶、ペットボトル、ビニール袋、車のホイールキャップ、置物、電化製品なども捨てられており、その量と種類には驚かされます。パトロールをされている方は「1つ見つければ、20、30は見つかる」とよく言われています。この事業は、地域の美化を守るとともに道路事故から町民の命を守るという大きな目的があります。これからも、多くのトラックや乗用車が行き交う道路ですので、会員の方の安全を徹底しながら、地域社会の発展と活性化に寄与する事業として継続できることを願っています。

二つめの企画提案方式事業は、会員が高齢者の見守り隊として活動の指導や介助を行う「いきいき教室」です。全国では、介護施設や介護人材不足、老老介護、認認介護問題などが増加しており、介護のために離職する家族が出るケースもあります。この教室での対象者は、介護保険要支援1及び2に認定された人やチェックリストの結果サービスが必要と認定された人です。教室は、町内3か所の施設を利用して週2日から4日間開催されています。参加者の方は、自宅から施設までセンター会員が送迎を行っています。9月には、参加者2名の誕生日会が開かれました。当日は、担当者からバースディカードが渡された後、手作りの水ようかんと抹茶を楽しみました。教室の参加者からは「ありがとう。」「若返った。」「たくさん話ができる楽しい。」とたいへん好評です。見守り隊となっている会員さんは、参加者のニーズに合わせ趣向を凝らしたプログラムを用意しています。今後も、センターでは、参加者の健康維持と家族の安心に繋げていきたいと考えています。



環境パトロール



いきいき教室

12 公益社団法人 永平寺町シルバー人材センター

今年も開催しました「古代文字漢字遊び！」

当センターでは昨年に引き続き、夏休み期間を利用し町内の児童クラブに出向いて、古代文字の漢字遊びを開催しました。昨年は、2箇所の児童クラブで開催しましたが、大好評だったこともあり、今年は小学3年生から6年生までを対象に、3箇所での開催となりました。

昨年とは教え方もグレードアップし、パワーポイントを交えながらの開催となりましたが、会員3名の方が力を合わせ、本番前にはリハーサルを行うなど、入念な下準備を行い本番を迎えるました。

甲骨文字や金文は、象形文字が基本となっているため、形を見ているだけでも楽しく、漢字の成り立ちを知ることにより、さらに面白さが深まってきます。また、「古代文字合わせ」は、漢字の成り立ちを手がかりにして、楽しく漢字が覚えられます。子どもたちは興味津々といった表情を浮かべながら、会員の説明に聞き入っていました。

会員が古代文字の札を見せて、「これは一体なんていう漢字？」とクイズ形式で遊びながら、漢字の成り立ちや意味を知り、そして現在使われている漢字へと結びついていくため、子どもたちは楽しく覚えることができました。これからも機会があれば、いつでもどこでも漢字遊びをやっていきたいと思います。



古代文字合わせの様子

13 公益社団法人 美浜町シルバー人材センター

安全対策の推進と外部理事・外部監事の選任

今年も猛烈な暑さが続きました。

当センターでは、特に屋外作業をする会員の熱中症対策のために、原則として作業時間を午前のみに制限し、会員の安全確保に努めています。安全対策を徹底するために昨年度に引き続き、ファン付きベストなど安全対策用品の購入に対して、補助率を2分の1から3分の2に引き上げて支援を行っています。（補助上限額10,000円、対象100人）

今年度は草刈刃の石トバサーズを補助対象にしたところ、9月末現在で28人、131枚の購入がありました。

7月3日には安全就業講習会を開催し、福井県シルバー人材センター連合の安全・適正就業パトロール指導員の舟澤氏から、昨年度の事故発生状況をもとにご指導をいただき、57名の会員が受講しました。

また、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の改正により、ガバナンスの強化と運営の透明性を向上させることを目的に、理事及び監事に外部の人材を選任することが義務付けられたことから、当センターにおいても本年の役員改選に併せて、5月28日の総会において各1名を選任することができました。



安全対策用品を活用した作業

14 公益社団法人 若狭町シルバー人材センター

おかげさまで20周年

平成17年、旧上中町と旧三方町が合併し若狭町が誕生した同じ日、「若狭町シルバー人材センター」が設立され、おかげさまで20周年を迎えることができました。節目の年ということで毎年開催している「地域ふれあいフェア」も朝市やガラポン抽選会、餅まきなど、通年よりさらに盛り沢山の企画を実施し、来場いただいた町民に楽しんでいただくことができました。また3月には、パレア若狭にて「20周年記念式典」を開催し、町長をはじめご来賓の皆様に多数お越しいただき、表彰状の授与やお笑いステージなど、一番の功労者である会員の皆さんのが楽しんでいただける式典となりました。

今後ますます高齢化が進み、厳しい社会情勢の中ではありますが、30周年に向けて『会員の皆様が会員であることを誇りに思えるセンター』を目指しこれからも努力を重ねてまいります。



設立20周年記念式典



地域ふれあいフェア
記念の餅まき

15 公益社団法人 高浜町シルバー人材センター

安全作業を目指して!! 安全・適正就業講習会を開催

当センターでは毎年度が始まる前に、安全・適正就業講習会を2日間で3回全作業員に対して実施しています。

まず、講習会の内容としては、①理事長の訓話、②安全・適正就業委員長からの安全講演、③安全ビデオの上映、④福井県シルバー人材センター連合の安全指導員からの災害事例の解説と安全ビデオの内容を含めた安全作業のポイント説明を行い受講者全員の安全意識高揚を図っています。

特に最近は刈払機での石飛事象が多く発生していることから、上下二枚刃使用の推進や他センターの取り組み事例などを紹介し石飛防止の一助としています。

また、作業によっては年齢制限を設ける規程を採用し、高年齢者の安全作業の配慮も行っています。令和7年度に入ってからも災害ゼロを継続していますが、作業環境が厳しい夏は特に熱中症予防も含めケガが発生しないように細心の注意を払って作業に当たってもらっています。

今後も安全な作業環境は元より作業員の安全意識高揚に努めてまいります。



安全・適正就業講習会風景

賛助会員紹介

当連合では、シルバー人材センター連合の事業目的に賛同いただき、事業にご協力をいただけ
る、個人、企業、団体を賛助会員としてご加入いただいております。

Growth Hack
CleanPrintCenter Exceet

個人情報保全や耐震を備える
デジタルプリントセンター

Webマーケティング
印刷関連サービス

〒919-0482 福井県坂井市春江町中庄 61-32
TEL : 050-1791-0764 (代表)
<https://exceet.co.jp/>

EXCEET

**福井市内で貸会議室をお探しなら
9種類の会議室**

大規模な講演会・展示会や小規模なセミナーまで

**WEB会議
にも対応**

福井商工会議所ビル

福井予約イイ! ラ・ラ・ネッタ・イ 営業時間 9:00 ~ 22:00
0120-291411 福井 貸室 検索

(株)福井中日広告

福井市中央1丁目3-5 FUKUMACHI BLOCK 10階
TEL 0776-28-8606

未来、輝く
THE FUTURE IS BRIGHT

福井テレビ

■本社 / 福井市問屋町3丁目410番地 TEL 0776-21-2233(代)
■支社 / 東京・大阪・金沢・嶺南

<https://www.fukui-tv.co.jp>

ホテルフジタ福井
THE GRAN YOURS FUKUI

〒910-0005 福井市大手 3 丁目 12-20
0776-27-8811





湯川 社会保険労務士法人
Labor and Social Security Attorney Corporation

代表社員 湯川 渉

特定社会保険労務士・労働安全衛生コンサルタント・行政書士
福井市手寄1-12-23
TEL(0776)26-1395 FAX(0776)26-0197

aoiGROUP
New Power & New Life

AOIホールディングス株式会社
福井市二の宮4-44-1 TEL:0776-22-8100 <http://www.aoiaoi.co.jp>

各引出物・内祝用品・贈答用品

記念品・贈り物のデパート

松本本店 〒910-0017 福井市文京1丁目29-32 (松本小学校前)

TEL 0776(21)2346 FAX(21)2396

江守中店 〒918-8025 福井市江守中1-1004 ベル西1.5km 福井南警察署より100m

TEL 0776(33)6161 FAX(33)6162

つくし野店 〒910-0121 福井市定正町1303 TEL 0776(55)2121 FAX(55)2122

シヤディ・つばた

白崎印刷株式会社

〒910-0843 福井市西開発3丁目715
TEL : 0776-53-6300 FAX : 0776-53-7068
E-mail : sprint@skyblue.ocn.ne.jp

福井県医療福祉専門学校
Fukui Medical Welfare College

〒910-0804 福井市高木中央3丁目2018
TEL:0776-52-5530 FAX : 0776-52-5531



福井県織協ビル

立体駐車場併設(24時間営業・収容台数196台)
〒910-0005 福井市大手3丁目7番1号
TEL 0776-22-1411(代表) 0776-22-1414(会議室専用)
FAX 0776-22-1412 <https://www.senkyobldg.or.jp>



環境品質。—— **創文堂印刷** 株式会社

〒918-8231 福井市問屋町1丁目7番地
TEL(0776)22-1313(代) FAX(0776)25-1030

DAIWA

株式会社 大和印刷所

〒910-0017 福井市文京1-28-3
TEL.0776-22-2895 FAX.0776-22-2745

福井県栄養ケア・ステーション

公益社団法人 福井県栄養士会

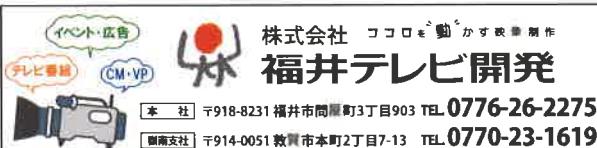
910-0004 福井市宝永3-10-16
共栄レジデンスTEL0776-27-5999



福井産機販売株式会社

F.SANKI
www.fukui-sanki.com
建設設備／機械資材……販売・リース

本店 福井市商周町2丁目44番地 TEL(0776)21-5570
支店 大野市中技1丁目1508 TEL(0779)66-3702
リース事務部 福井市商周町2丁目44番地 TEL(0776)21-5571
仮設レンタル部 福井市吉木東保町15字立瓦301 TEL(0776)41-0709
フッティングSC 福井市前波町17-2-2 TEL(0776)41-9155



株式会社 ココロモカクサ映像制作

福井テレビ開発

本社 〒918-8231 福井市問屋町3丁目903 TEL 0776-26-2275
副支社 〒914-0051 敦賀市本町2丁目7-13 TEL 0770-23-1619



**HOCSIS
LIVE OFFICE**

ご見学 予約受付中！

株式会社ホクシス



加入に関するお問い合わせは（公社）福井県シルバー人材センター連合へお願いします。



元気なシルバーの力が、あなたの町で活躍しています。

一般作業分野

- 除草・草刈り
- 屋内外清掃
- 農作業（種まき、水やり、収穫など）
- 荷造、運搬
- 包装、梱包（封入・袋詰めなど）
- 調理作業（皿洗い、配膳など）
- チラシ・ビラ配り



サービス分野

- 家事サービス
(掃除・洗濯・買い物など家事全般、ペットの世話など)
- 福祉サービス
(身の回りの世話、食事の介助、通院の介助など)
- 育児サービス
(園児の送迎、登下校の付き添い、保育・託児など)



技能分野

- 庭木などの剪定
- 障子・ふすま・網戸の張替え
- 大工仕事、ペンキ塗り
- 衣類のリフォーム
- 刃物研ぎ
- 門松・しめ縄づくり



事務分野

- 一般事務
- 経理事務
- 調査・集計事務
- 筆耕・宛名書き
- パソコンデータ入力



技術分野

- 家庭教師
- 学習教室の講師
- パソコン指導
- 自動車の運転



折衝外交分野

- 販売・店番
- 配達・集配
- 電気、ガスなどの検針
- アンケート調査



管理分野

- スポーツ施設管理
- 駐車(輪)場の管理
- 公園管理



お問い合わせは、あなたのまちのシルバー人材センターへ

公益社団法人
福井市シルバー人材センター
TEL(0776)27-0701

公益社団法人
若狭シルバー人材センター
TEL(0770)56-5115

公益社団法人
坂井市シルバー人材センター
TEL(0776)50-1350

公益社団法人
美浜町シルバー人材センター
TEL(0770)32-5144

公益社団法人
越前市シルバー人材センター
TEL(0778)24-5530

公益社団法人
大野市シルバー人材センター
TEL(0779)66-0069

公益社団法人
越前町シルバー人材センター
TEL(0778)34-1183

公益社団法人
若狭町シルバー人材センター
TEL(0770)45-9125

公益社団法人
敦賀市シルバー人材センター
TEL(0770)24-1250

公益社団法人
勝山市シルバー人材センター
TEL(0779)88-1881

公益社団法人
南越前町シルバー人材センター
TEL(0778)47-3210

公益社団法人
高浜町シルバー人材センター
TEL(0770)72-7030

公益社団法人
鯖江市シルバー人材センター
TEL(0778)51-8765

公益社団法人
あわら市シルバー人材センター
TEL(0776)97-6088

公益社団法人
永平寺町シルバー人材センター
TEL(0776)61-6100